

## 「2024mの黒槐山を歩く」(くろえんじゅやま) (個人山行)

(報告) FY

◎期日：2024年12月22日

◎メンバー：FY、IK

2024mの山を探していたら、KTさんから黒槐山を教えて頂いた。調べてみると笠取山の東側近くにある山だった。ここなら日帰りでも可能かと思い、IKさんに声をかけて2024年師走の押し詰まった頃に出かけた。

奥多摩湖方面から山梨県一ノ瀬まで入る予定だったが、落石のため林道が通行止めになっていた。しかし何とか作場平の広い駐車場までたどり着いた。車は6台ほど駐まっている。ここのトイレは立派だ。

9時50分に出発する。登り始めは雪もなく快適なトレイルだ。山梨県ではあるが東京都水道局が管理しているエリアなので道標もしっかりしている。

12時30分に笠取小屋に到着した。なだらかな場所に建っている立派な小屋だ。今日は鍵がかかっていた。管理人が常駐しているような雰囲気だった。

ここから水干(ひすい)まで雪道を30分ほど歩く。ここは多摩川源頭の最初の一滴と言われている場所だ。以前来たときは水がポタポタひたたっていたが本日は乾いていた。ここから東京湾まで138kmの多摩川の流れが始まると思うと感無量だ。



黒槐山まであと30分ほどの登りなのだが雪道に足跡がない。しばらく山頂を探しながら雪中の笹をかき分けながら歩く。途中にオレンジのテープがあり、かすかな登り道を発見する。これが黒槐山までの道ではないかと確信し、ザックを置いてヤブ漕ぎを始める。

約10分で稜線に出るとその向こうに2024m黒槐山の道標が木にかかっていた。回りの雪道に踏み後がついていないのでここしばらくは誰も登っていないようだ。道標は新しく、今年のために急遽しつらえたようだった。

下で待っているIKさんに声をかける。登ってきてもらい2024年の山の登頂を祝った。山頂でランチを食べる余裕が無かったのでお握りをほおばりアイゼンを付けて下り始める。今年でなければ登りに来なかった山だが、静謐な山だった。

《コースタイム》

12月22日（日）9：30 作場平駐車場—12：30 笠取小屋—13：30 黒槐山  
—15：00 笠取小屋—17：00 作場平駐車場 歩行7時間30分

